

タイトル『汐製菓会社の新作「ウエハース」』

登場人物

- ・ 汐（しお）…30代、汐製菓会社の社長。「面白きことも無き世を面白く」がモットー。大胆で奇抜な発想で常に周囲を驚かせる。
- ・ 塩田（しおた）…30代、汐の秘書。お菓子大好きだけど現実的。社長の発想に振り回されながらも、内心共感していることが多い。
- ・ 研究員A（たかし）…慎重派の研究員。常に冷静で、汐のアイデアに疑問を抱きながらも、実行せざるを得ない立場にある。
- ・ 研究員B（みちこ）…新しいものが大好きな研究員。汐の発想に大いに賛同し、積極的にサポートするタイプ。

- ・ 外国バイヤーA(ジョン)：欧米出身のバイヤー。エッグベネディクトの大ファンで、汐のアイデアに大興奮する。
 - ・ 外国バイヤーB(マリー)：フランス出身。美食家で、エッグベネディクト味に対して厳しい批評をするが、最終的には興味を示す。
 - ・ その他：国内外のお客さんや、試食に参加する人々。様々なリアクションを取る。
-

シナリオ

シーン1：汐製菓のオフィス(朝)

(汐がデスクに書類を広げ、机に足を乗せる。塩田がコーヒーを持ってきて入室)

汐（大声で）

「おはよう、塩田！今日も素晴らしいアイデアが降りてきたぞ！」

塩田（少し疲れた顔で）

「おはようございませす、社長……。今度はどんなアイデアなんですか？」

汐（満面の笑みで）

「聞いて驚け！新作ウエハース、第〇弾！その名も……『エッグベネディクト味』！」

塩田（コーヒーを吹き出しそうになって）

「え、エッグベネディクト味……？ウエハースに……？お菓子じゃなくて朝食じゃないですか……？」

汐

「だからこそ面白いんだよ！誰も考えつかないだろう？甘いだけがお菓子じゃない！」

塩田（真面目な顔で）

「社長…さすがにこれは無理がありますよ

…。誰がそんな味のウエハースを食べたいと思いますか？」

汐（自信満々で）

「みんなだよ！世界中の人が驚いて、感動して、夢中になるに違いない！しかもエッグベネディクトは海外で大人気だぞ！」

塩田（半信半疑）

「…まあ、確かに海外では朝食の定番ですけど、日本でそんなウエハースが売れるとは思えませんね。」

汐

「まずはやってみるんだ！味を再現できれば、あとは美味しさで勝負だ！研究員たちに試作を指示してくれ！」

（塩田は仕方なくうなずき、メモを取る）

シーン2：試作室

（汐と塩田が研究室に到着。研究員Aと研究員Bが試作に取り組んでいる）

汐

「みんな、エッグベネディクト味ウエハースの試作を始めるぞ！期待してるからな！」

研究員A（たかし）（苦笑いしながら）

「社長、卵とベーコンの味をウエハースで再現するのはかなり無理があると思いますけど…。」

研究員B（みちこ）（興奮して）

「いや、これは面白い！挑戦的な発想です！絶対に成功させましょう！」

塩田

「大丈夫なんでしょうか…？卵の風味をサクサクのウエハースにするなんて、聞いたことがありません。」

汐（胸を張って）

「そんなの常識破りだろうが、常識を壊すのが我々の使命だ！さあ、まずは味を作ってくれ！」

（研究員たちが試作品を作り始める。場面転換）

シーン③：試作品完成と試食会

（汐と塩田が試作品を前にして試食会を開く）

汐（ウエハースを手取る）

「これが噂の『エッグベネディクト味ウエハース』だ！いざ、実食！」

塩田（少し警戒しながら）

「…どんな味になってるのか、怖いけど、気になりますね。」

（汐が勢いよく一口食べる。塩田もそれに続く）

汐（大声で）

「うまい！卵のクリーミーさ、ベーコンの塩気、そしてウエハースのサクサク感！完璧じゃないか！」

塩田（驚いて）

「思ったより…悪くないですね！でも、この味をお菓子として受け入れられるかは、ちょっと難しい気も…。」

研究員A（たかし）

「卵の香りが強すぎて、お菓子としてはどうかって意見もありそうです。」

研究員B（みちこ）

「でも、新しい味を求める人にはウケるかも！革新的ですし！」

シーン④：国内テストマーケティング

（会議室で、マーケティング担当者が結果を報告）

マーケティング担当

「テストマーケティングの結果ですが、『エッグベネディクト味ウエハース』、正直あまり良くありませんでした…。」

汐（驚愕）

「なんだって！？どうしてだ！？」

マーケティング担当

「お客様からは『朝食っぽい』『おやつとしては微妙』『味が濃すぎる』という意見が多く寄せられています。」

塩田（少し落ち着いて）

「やっぱり…。社長、ちょっと日本のお客様さんには難しいかもしれませんね…。」

汐（頭を抱えつつも、突然顔を上げて）

「待てよ！日本でダメなら、海外に打って出るんだ！エッグベネディクトは世界中で愛されてるんだぞ！」

塩田（驚き）

「海外市場ですか！？そんな急に…。」

汐（目を輝かせて）

「いや、むしろ今がチャンスだ！エッグベネディクトはアメリカやヨーロッパで大人気だ。これがウエハースになったら、みんな驚くだろう！」

シーン5：海外見本市の準備

（汐と塩田が海外見本市の準備を進める）

塩田（不安そうに）

「でも社長、どうやって海外でアピールするんですか？言葉も文化も違いますし…。」

汐

「大丈夫だ！言葉が通じなくても、味は世界共通だ。試食してもらえば、必ずわかってもらえるさ！」

塩田（半信半疑で）

「まあ、確かに実際に食べてもらうのが一番か
もしれませんね…。ただ、ウケるかどうかは
…。」

シーンの：海外見本市

（見本市の会場。汐と塩田がブースを設置。
多くのバイヤーが興味を持っている）

汐（ブースの前で手を広げて）

「さあ、来たれ世界！これが新しいお菓子文
化だ！」

外国バイヤーA(ジョン)

「エッグベネディクト…ウエハース？初めて聞いたけど、どんな味がするんだ？」

汐(自信満々で)

「試してみてください！新しい朝食革命です！」

(バイヤーたちが試食する。反応はさまざま)

外国バイヤーB(マリー)(驚いた顔で)

「これは…意外と美味しい！卵とベーコンの味がちゃんとする！」

外国バイヤーA(ジョン)

「本当にウエハースでエッグベネディクトの味を再現できるとは思わなかった。面白い！」

塩田(ほっとしながら)

「よかった…。みんな興味を持ってくれますね！」

汐（得意げに）

「ほら、言っただろう？ 味は世界を繋ぐんだよ！」

シーン②：海外での成功と国内への逆輸入

（海外で大ヒットしたことが報じられ、国内でも逆輸入として再び注目され始める）

塩田（新聞を読みながら）

「社長！『エッグベネディクト味ウエハース』、海外で大成功ですよ！ 日本でも『逆輸入ヒット』として話題になり始めてます！」

汐（大笑いしながら）

「だろう？ やっぱり俺の直感は正しかったんだよ！ 次の新作もさらに奇抜にいくぞ！」

塩田（笑顔で）

「ええ、でも今度は少し普通の味にしましょうよ…。」

汐（悪戯っぽく）

「いやいや、次はもっと攻めるんだ！ウエハース第18弾は…『納豆味』だ！」

塩田（驚愕して）

「ええっ！？それは無理ですって…！」

（～人が笑いながら次の企画を練り始める）

終わり